



日本共産党文京区議会議員
まんだち幹夫 通信
 2012年2月10日号 No.229

週刊

みなさんをいつもまんやかに、

区議団控室：5803-1317 (直通)
 萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7
 ・fax 3868-8355
 メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》

**20日(月)本会議で
 質問に立ちます**

出席する委員会予定紹介

13日からの定例区議会で本会議質問します。
 来年度予算案について放射能、災害対策「絶対高さ」、再開発について
 22日：自治制度特別委員会 3月1、2日総務区民委員会 7～14日予算審査特別委員会

まもなく震災から一年、多くの方々が声をあげています
 “がれきの荒野を見た私たちがだからこそ、今までと違う
 「新しい日本」をつくりたいと切に願っている”
 先日、俳優の渡辺謙さんが世界経済フォーラム年次総会「ダボス会議」でおこなったスピーチを読み、心うかされました。今号は、その一部を紹介いたします。
 「……度を越えた成長は無理を呼びます。日本には『足るを知る』という言葉があります。自分に必要な物を知っていると
 言う意味です。人間が一人生きて行く為の物質はそんなに多くないはず。こんなに電気に頼らなくても人間は生きて行けるはず。『原子力』という、人間が最後までコントロールできない物質に頼って生きて行く恐怖を味わった今、再生エネルギーに大きく舵を取らなければ、子どもたちに未来を手渡すことはかなわないと感じています。
 私たちはもっとシンプルでつましい、新しい『幸福』というものを創造する力が

**柏移動教室
 来年度は「休止」に**

教育委員会は、区立小学校4、5年生の校外学習である柏移動教室を「休止」し、代替事業をおこなうと発表しました。

これは千葉県柏市が「放射性物質汚染重点調査地域」に指定されたため。昨年9月、区議会建設委員会で党議員が柏学園敷地内で0.3μSv超の放射線量が測定されたのをうけて「違う場所に変えるべき」と主張していましたが、区は「特に問題があるような数字だとは思っていない」などと答弁していました。また多くの保護者からも中止を求める声が出ていました。児童の定期的健康診断など、今後の区への対応を求めてゆきます。



あると信じています。がれきの荒野を見た私たちがだからこそ、今までと違う「新しい日本」を作りたく切に願っているのです。今あるものを捨て、今までやって来たことを変えるのは大きな痛みと勇気が必要です。しかし、今やらなければ未来は見えて来ません。心から笑いながら、支え合いながら生きて行く日本を、皆さまにお見せできるよう努力しようと思っています。そしてこの『絆』を世界の皆さまともつないでいきたいと思っています。」

cm	A型	瀧出身	21日	渡辺謙
	184		てんびん座	1959年10月



渡辺謙さん

まんだち日誌

- 2日 午前、区の宅建協会のみなさんと懇談。夜、礪川地区町会連合会の新年会。ビッグルで会場の椿山荘まで行きましたが少し遅刻。いろいろな方と懇談できました。
- 3日 夜、行財政改革区民協議会を傍聴。行革「案」についての質疑応答でしたが、委員の意見に区が「それは意見の違いです」と切り捨てたのには怒りを感じました。もっと話し合うことが大事なのに。
- 4日 日曜版の配達。夜、先日実施した避難所開設訓練の反省会。「もっと訓練重ねなくては」「しかし、予算はいよ……大事な会合でした。」
- 6日 正午、なんとかが本会議質問の原稿を仕上げ、提出！